

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」（個別商品編）

2024/1/22現在

1. 商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	しんきんJリートオープン（隔月決算型）・証券投資信託
組成会社（運用会社）	しんきんアセットマネジメント投信株式会社
販売委託元	しんきんアセットマネジメント投信株式会社
金融商品の目的・機能	国内の金融商品取引所上場の不動産投資信託証券に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	中長期での資産形成を目的とし、元本割れリスクを許容する方を想定しています。
パッケージ化の有無	当ファンドの実質的な投資対象であるJリートは、上場投資信託であり、当ファンドは複数の投資信託に投資する投資信託（ファンド・オブ・ファンズ（FOFs））に該当します。当金庫においては上場投資信託を個別の金融商品としてご購入いただくことはできません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

- （質問）
- ① 毎月決算型との違いは、どんな点にありますか？
 - ② この商品が、私にとって好ましいと考える理由は、こういった点にありますか？
 - ③ 分配金の水準は、実質的には固定化していると考えてよいですか？

2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じる リスクの内容	<価格変動リスク> 株価は、政治・経済情勢、発行体の業績、市場の需給等を反映して、短期的・長期的に大きく変動する。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となります。
	<不動産投資信託のリスク> 不動産を実質的な投資対象としているために、他の金融商品と異なり、火災・自然災害や不動産に係る法制度の変更などの影響を受けて投資先の不動産の価値が変動する場合があります。
	<信用リスク> リートは一般の法人と同様に倒産のリスクがあり、リーートの経営や財務状況が悪化した場合、リーートの価格が下落することがあります。
	<流動性リスク> 市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予測される時期または価格で取引が行えず、損失を破る可能性があります。
過去1年間の収益率	*表示できるデータはありません
過去5年間の収益率	*表示できるデータはありません

※ 損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の8ページから9ページ、運用実績の詳細は交付目論見書の10ページから11ページに記載しています。また、本シート作成日に使用している交付目論見書に基づき記載しています。

- (質問) ④ 隔月決算型の基準価額は、毎月決算型と比べて安定するといえますか？
 ⑤ 今後、金利の上昇局面になると、基準価額は下落しますか？

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

(税込)

購入時に支払う費用 (販売手数料など)	窓口購入	インターネット購入
	2.20%	1.54%
継続的に支払う費用 (信託報酬など)	信託報酬：年0.99%	
運用成果に応じた費用 (成功報酬など)	ありません。	

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の14ページに記載しています。また、本シート作成日に使用している交付目論見書に基づき記載しています。

- (質問) ⑥ 信託報酬とは、こういった目的で徴収するのですか？
 ⑦ NISA制度対象商品の中では、手数料が高い方ではありませんか？

4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

この商品の償還期限はありません。但し、繰上償還を行う場合があります。

この商品をお客様が換金・解約しようとする場合、解約手数料は生じませんが、信託財産留保額として0.3%をご負担いただき、信託財産内に留保します。

証券取引所の停止等により換金や解約ができないことがあります。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の13ページに記載しています。

- (質問) ⑧ 信託財産留保額とは手数料の一種ですか？ 何のために必要なのですか？

5. 当金庫の利益とおお客様の利益が反する可能性

当金庫がお客様にこの商品を販売した場合、当金庫は、お客様が支払う費用（販売手数料、信託報酬）のうち、組成会社等から0.495%の手数料を頂きます。これは販売時のコンサルティング（販売仲介など）の対価としていただきます。

当金庫は、この商品の組成会社等との間で出向等の人間関係および資本的関係がありません。

「重要情報シート」のフォーマットのとおり、当金庫の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品より高く評価されるようなことはありません。

※ 利益相反の内容とその対処方針については、ホームページ「顧客本位の業務運営に関する原則」の「取組方針」をご参照ください。

(URL) <https://www.numashin.co.jp/policy/files/fiduciaryduty.pdf>

- (質問) ⑨ 特定の商品を推奨販売していることは、あるのですか？

6. 租税の概要（NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

分配時、配当所得として普通分配金に対して20.315%、換金（解約）時および償還時は、譲渡所得として、換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%が課税されます。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の15ページに記載しています。

7. その他参考情報（契約にあたっては、当金庫Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

- ・ 販売会社（当金庫）が作成した契約締結前交付書面【目論見書補完書面】
(URL①) <https://www.numashin.co.jp/kojin/unyo/files/mokuromisyo.pdf>

※ PDF形式で掲載しています。

①



- ・ 組成会社が作成した【目論見書】
(URL②) <http://www.skam.co.jp/fund/detail/140891/>

※ リンク先は、当金庫が運営するホームページではありません。

当金庫はリンク先の表記等について保証するものではなく、一切の責任を負いません。

②



契約締結に当たっての注意事項等をまとめた契約締結前交付書面【目論見書交付書面】、金融商品の内容等を記した【目論見書】については、ご希望があれば、紙でお渡しします。



商号等/沼津信用金庫 登録金融機関 東海財務局長(登金)第59号

<質問回答例>

しんきんJリートオープン（隔月決算型）

	<質問>	<回答例>
①	毎月決算型との違いは、どんな点にありますか？	隔月決算型は、新NISA制度に対応した商品として新たに作られたものですが、運用のマザーファンドは毎月決算型と同一です。
②	この商品が、私にとって好ましいと考える理由は、こういった点にありますか？	再投資によって口数と財産評価額を増やすこと、分配金受取りのキャッシュフローを得ること、どちらも選択いただける点です。
③	分配金の水準は、実質的には固定化していると考えてよいですか？	この商品も分配金とファンド価格の両者によって投資成果をみていただく観点から、分配金水準を固定的に維持することはありません。
④	隔月決算型の基準価額は、毎月決算型と比べて安定するといえますか？	毎月分配金を支払う負担が軽減される点は基準価額の維持につながりますが、上場リート価格の変動という本質的な要因は同一です。
⑤	今後、金利の上昇局面になると、基準価額は下落しますか？	たしかに金利上昇は、投資対象の投資法人の調達コストに影響を与えますが、株式と同様に市場は複数の要因で変動するため、一律的に下落方向になるとは限りません。
⑥	信託報酬とは、こういった目的で徴収するのですか？	この商品の当事者である運用会社・信託銀行・販売金融機関が要する様々な経費を補填する目的があります。お客様の運用期間に正確に対応させるため、日々のファンド価格から控除されます。
⑦	NISA制度対象商品の中では、手数料が高い方ではありませんか？	積立投資枠の商品と比べると手数料はかかりますが、弊庫が取り扱う成長投資枠の商品においては平均的な水準といえます。
⑧	信託財産留保額とは手数料の一種ですか？ 何のために必要なのですか？	換金手数料とは区別されており、ファンド運用資金の大幅な減少、それによる基準価額の大幅な下落を抑える目的があります。
⑨	特定の商品を推奨販売していることは、あるのですか？	多くのお客様が購入なさる商品であっても、常にお客様ご自身の運用資産構成に配慮したご提案を差し上げておりますので、ご安心ください。